

山下雄平新聞

<発行元>
山下雄平後援会
〒840-0801
佐賀県佐賀市駅前中央
三丁目6-11
TEL0952-37-8290
FAX0952-37-8291

議連団長でデンマーク訪問

エネ政策 次官らと議論

【コペンハーゲン＝山下雄平】九月一日からの十日間、デンマーク友好議員連盟を代表してデンマークと、その施政下のグリーンランド自治政府を訪問しました。政府の要職にある方々と会談し、エネルギー政策や地球温暖化、捕鯨などについて意見を交換しました。



【コペンハーゲン＝山下雄平】九月一日からの十日間、デンマーク友好議員連盟を代表してデンマークと、その施政下のグリーンランド自治政府を訪問しました。政府の要職にある方々と会談し、エネルギー政策や地球温暖化、捕鯨などについて意見を交換しました。

首都コペンハーゲンでは、首相府のトムセン次官とエネルギー庁のベック長官と会談しました。首相府次官は日本では言えど事務の官房副長官といったところでしょうか。四年前までは財務次官を五年間務められていました。デンマークは風力発電に力を入れており、二〇一三年時点で国内電力の三十三%を占めており、二十年までに五十%に引き上げる目標を掲げています。トムセン次官との会談では私から「自然エネルギーの目標や重い税金など国論が割れそうなテーマでも、政権交代した後方も方針が変わらないのはなぜか」と尋ねました。

トムセン次官は「デンマークでも政党間で政策の違いはある。ただ、他国がどう政党間のコンセンサスをつくっているかを学び、自国で生かすという伝統がある。また、多党制なので広く中間政党の理解を得ようとするのが、長期的な合意維持につながっているのでは」とおっしゃっていました。エネルギー関連の企業も視察しました。発電にムラのある風力を高い蓄電技術が支えているとのこと。お邪魔した蓄電設備の企業の幹部は「日本からも研究・受注の依頼が来ている」と。デンマークは原発を利用しないことを決めてい



ますが、北欧四カ国で自由に電力を融通している、風が吹かない時には原発を保有している国から電力を輸入しています。デンマークは風力、ノルウェーは水力、スウェーデンとフィンランドは原発、などと各国の強みを生かしながら、北欧を一つの枠組みとしてエネルギーのベストミックスを目指しているように感じました。

手刈りで収穫 献穀田

九月二十一日は唐津市北波多志気地区で新嘗祭献穀田の抜穂式に参加させていただきました。私も保利耕輔代議士、福岡資麿参議院議員とともに五月に自分が植えた稲を



首相と会談

【ヌーク（グリーンランド）＝山下雄平】私は九月九日、グリーンランドの首都ヌークで自治政府のアレカ・ハモン首相（48）と会談し、捕鯨や気候変動などについて意見を交わしました。グリーンランドではイヌイットの方々が生計の手段として捕鯨をしています。

ハモン首相は「先住民の捕鯨は文化であり、各国はそれぞれの文化を尊重しなければならない。IWC（国際捕鯨委員会）の中で今後も強く主張していく」と強調されました。私は「日本も捕鯨文化を大切にしている。これから更に日本とグリーンランドで連携して国際社会に訴えていかなければならない」と指摘しました。

グリーンランドは世界遺産のアイスフィヨルドで有名です。ただ、温暖化で氷床が溶けだし、狩猟や漁業に影響が出ています。首相は「気候変動の問題をもっと世界の方々に知ってもらいたい」と訴えられておられました。



鎌で刈り取りました。長雨の影響も心配しましたが、大きく成長していました。当日は、お年寄りからお子さんまで多くの方が参加されていました。みなさん「自分が育てたお米を宮中に献上できるんだ」と誇らしげでした。

国土交通委員会でも論戦へ

九月二十九日、臨時国会が開会しました。安倍晋三内閣総理大臣は所信表明演説で「地方創生」と「女性の活躍」を今国会の柱に位置づけました。人口減少対策や地域活性化を推進する「まち・ひと・しごと法案」や「地域再生法改正案」などが大きなテーマとなります。私は前国会から引き続き予算委員会に所属するとともに、新たに国土交通委員会にも加わりました。党側では国土交通副部長に就任しました。新聞記者時代、国土交通省を担当したこともあるため、なじみの深い分野です。国交行政は道路や港湾、治水などの社会資本整備に加え、観光や海上警備、離島振興、鉄道・航空・海運・トラックなどを所管しています。国会では、政治倫理・選挙制度に関する特別委員会の理事にも就任。来年の通常国会では「一票の格差」をめぐる参議院の選挙制度見直し案がこの特別委員会で審議される予定です。